

メールまたは FAX でご提出ください
<メールの場合はこちらをご確認下さい>

【件名】第 30 回臨スポ出席確認

【本文】以下の 3 項目を必ず記載してください。

①登録番号(数字 7 桁) ②カナ氏名 ③生年月日(西暦)

【添付ファイル】出席確認カード

※右の QR コードを読み取るとメールが立ち上がります。

※本アドレスは受信専用アドレスです。

アドレス drat-kakunin@japan-sports.or.jp

FAX 番号 : 03-6910-5820

送付期限 2019 年 11 月 29 日 (金)



日本スポーツ協会公認スポーツドクター・アスレティックトレーナー更新研修

第 30 回日本臨床スポーツ医学会学術集会

出席確認カード

登録番号(7桁)								生年月日(西暦)
フリガナ								年 月 日
氏名								
保有資格 (〇をつけてください)		公認スポーツドクター						
		公認アスレティックトレーナー						

<ネームカード貼付欄>

- ※ 必ず学会ネームカードのコピーを貼付してください。参加証、領収証、領収証控、公認スポーツ指導者登録証は不要です。
- ※ 公認アスレティックトレーナーは BLS 資格の認定証(写)を併せて貼付してください。貼付がない場合、更新研修を受講したことになります。

<ネームカード>

<BLS 資格認定証(公認 AT のみ)>

裏面も必ずご記入ください。

第1日 11月16日（土）							
No.	セッション	講演タイトル	会場	開始時刻	終了時刻	所要時間	聴講
1	会長講演	陸上競技のメディカルサポート30年	第1会場	8:30	9:00	30分	
2	理事長講演	東京2020以降のスポーツ医学	第1会場	9:10	10:10	60分	
3	シンポジウム2	スポーツ現場における法的問題	第2会場	9:10	10:40	90分	
4	シンポジウム3	パラアスリートを支えるスポーツ医学～ランニング、車いすパフォーマンスを中心に	第3会場	9:10	10:40	90分	
5	招待講演1	iPS細胞技術を用いた再生医療と創薬研究	第1会場	10:20	11:20	60分	
6	シンポジウム4	ハイパフォーマンスを支えるAT（アスレティックトレーナー）の役割－競技種目別の視点と実際－	第3会場	10:50	11:50	60分	
7	招待講演2	Sports in hot and humid environments, some considerations for Tokyo 2020	第1会場	11:30	12:30	60分	
8	ランチョンセミナー1	人間特性の研究に基づく最新のスポーツギアとサービス	第2会場	12:40	13:40	60分	
9	ランチョンセミナー2	AIがもたらすスポーツイノベーション	第3会場	12:40	13:40	60分	
10	ランチョンセミナー3	運動器衝撃波治療の基礎 収束型体外衝撃波と拡散型体外衝撃波療法の実例－臨床現場における具体的な使用方法と工夫－	第4会場	12:40	13:40	60分	
11	ランチョンセミナー4	乳酸菌B240による感染防止機能について	第5会場	12:40	13:40	60分	
12	ランチョンセミナー5	睡眠と運動パフォーマンス	第6会場	12:40	13:40	60分	
13	ランチョンセミナー6	スポーツ現場におけるポケットエコーの有用性					
14	特別講演1	日本臨床スポーツ医学会の30年と今後の課題	第1会場	13:50	14:50	60分	
15	教育講演2	ランニング障害の予防と理学療法	第2会場	13:50	14:50	60分	
16	日・韓・独シンポジウム1	The Preparation for Tokyo 2020 in your National Team	第5会場	13:50	15:20	90分	
17	シンポジウム1	ACL再損傷予防をサイエンスする	第1会場	15:00	16:30	90分	
18	教育講演3	スポーツ活動時における呼吸器疾患のマネジメント	第2会場	15:00	16:00	60分	
19	パネルディスカッション1	健康にランニングを続けるために距離制限は必要か	第3会場	15:00	16:30	90分	
20	日・韓・独シンポジウム2	The Sports Medicine, present and future, in your country	第5会場	15:30	17:00	90分	
21	教育講演1	スポーツ脳振盪の診断と治療	第1会場	16:40	17:40	60分	
22	教育講演4	スポーツ歯科から見た健康・安全づくりとパフォーマンス	第3会場	16:40	17:40	60分	
第2日 11月17日（日）							
No.	セッション	講演タイトル	会場	開始時刻	終了時刻	所要時間	聴講
23	教育講演5	アンチ・ドーピングの観点からスポーツ医療を考える～POST2020に向けて～	第1会場	8:30	9:30	60分	
24	シンポジウム7	アスリートのコンディショニング管理	第2会場	8:30	10:00	90分	
25	シンポジウム9	スポーツ栄養の新展開	第3会場	8:30	10:00	90分	
26	教育講演6	Hyperandrogenic athletes and Transgender athletes	第1会場	9:40	10:40	60分	
27	シンポジウム8	ジュニアアスリートのスポーツ障害をいかに防ぐか～メディカルチェックとその後の取り組み～	第2会場	10:10	11:30	90分	
28	シンポジウム10	ラグビーワールドカップから東京2020へ	第3会場	10:10	11:30	90分	
29	基調講演	AMEDのミッション：世界の人口遷移に向けた医療研究開発の動向	第1会場	10:50	11:50	60分	
30	ランチョンセミナー7	神経磁界計測による神経活動の可視化と障害部位診断－脊髄、神経根、腕神経叢から末梢神経まで－	第2会場	12:00	13:00	60分	
31	ランチョンセミナー8	Eスポーツと認知症予防	第3会場	12:00	13:00	60分	
32	ランチョンセミナー9	観戦前に感染を防げッ！東京2020大会で備えるべき感染症	第4会場	12:00	13:00	60分	
33	ランチョンセミナー10	運動器検診における超音波検査	第5会場	12:00	13:00	60分	
34	ランチョンセミナー11	UVからアスリートを守る～日やけ止め剤の開発～	第6会場	12:00	13:00	60分	
35	ランチョンセミナー12	老後に備えて貯金と貯筋－ホーム貯筋術の提案－	第7会場	12:00	13:00	60分	
36	特別講演2	スポーツにおける怪我との向き合い方	第1会場	13:10	14:10	60分	
37	教育講演7	スポーツと遺伝	第2会場	13:10	14:10	60分	
38	パネルディスカッション2	再考：メディカル&コンディショニングサポートのあり方	第4会場	13:10	14:40	90分	
39	ワークショップ	パラリンピックアスリートをサポートする	第5会場	13:10	14:40	90分	
40	シンポジウム5	ハイパフォーマンススポーツを通して臨床医学を考える	第1会場	14:20	15:00	40分	
41	教育講演8	統計学からみた研究倫理	第2会場	14:20	15:20	60分	
42	シンポジウム11	投球障害の保存療法とその限界	第3会場	14:50	16:35	105分	
43	パネルディスカッション3	海外帯同メディカルスタッフの役割とは	第4会場	14:50	16:35	105分	
44	シンポジウム6	下肢疲労骨折の治療と予防～現在、過去、未来	第1会場	15:10	16:40	90分	
45	教育講演9	スポーツ現場での安全管理とアスレティックトレーナー	第2会場	15:30	16:30	60分	

氏 名 _____

合計 _____ 分

※ 合計 240 分以上の聴講が必要です。